

吉武法命（よしたけほうめい）（1/2）

～農村に学問の種まきをした人～

江戸時代の唐津の村々には庄屋達を中心私塾（個人が経営する学問所）が開かれていました。そこには学問好きの村の子供達が通い熱心に勉強しました。当時、町や村の子供達に読み・書き・そろばんを教える寺子屋がありましたが、私塾では儒学（孔子に始まる中国の古い学問）や和算（江戸時代の数学）、天文学など比較的程度の高い学問を身につけることができました。また、農村の子供や若者だけではなく、評判を聞きつけて武士達も通い熱心に勉強していました。農村に数多くの私塾を開き、学問の種をまいた人が吉武法命です。

吉武法命（はじめ団四郎といい後に義質）は、貞享2年（1685年）吉武九郎兵衛の次男として生まれました。吉武家は藩主土井侯の重臣で、兄の宗信は後に唐津藩の家老になっています。吉武法命は小さいときから勉強が好きで、当時土井侯に仕えていた儒学者奥東江の教えを受けて、本格的に学問の道をすすみました。

法命に学問の手ほどきをした奥東江は近江（滋賀県）の生まれで、京都で医学と儒学を学びましたが、唐津藩4代目の領主となった土井周防守利益にしたがって唐津へやって来たのでした。彼は身につけた学問は人々の生活に役立たせることが大切だという考えでしたから、郡奉行（村を治める役人）となり村に出かけ農民の暮らしを自分の目で確かめ、飢饉で飢えに苦しむ人があれば藩の米蔵から数千俵の米を出して救ったり、生活の苦しさから生れたばかりの赤子を殺す間引きが行われているのを見つければ、直ちにそれを禁じて人の命の大切さを説き、赤子を育てることが困難な人には、赤子養育米を与えたりしました。

彼のこのような、人の暮らしに役立たせようとする学問は「奥流の学」と呼ばれ多くの人びとに慕われるようになりましたが、やがて東江は若殿の教育係として江戸へ帰る事になります。

その後、奥東江の教えを受けた吉武法命が唐津藩の代官（郡奉行の下で村を治める役人）となります。彼は村々をまわりながら、ひまを見つけては学問に志のある若者を集めて儒学を教えたということです。奥東江の教えを守り、謙虚な態度で学問の大切さを説く法命のまじめな人柄にひかれ、多くの若者が彼の教えに熱心に耳を傾けるようになりました。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



吉武法命の墓
弟子たちによって建てられた
（唐津市神田）

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html

吉武法命（よしたけほうめい）（2/2）

～農村に学問の種まきをした人～

～1/2からつづく～

享保17年(1732年)、法命は47歳で代官をやめて母の住む山田村(唐津市山田)で暮らすようになります。山田村の法命宅には、向学心に燃える若者達が法命の教えを受けに集まりました。後に虹の松原一揆のリーダーとなる富田才治は、10キロも離れた平原村から通って来て夜のふけるまで熱心に勉強し、時には泊まっていくこともあったということです。やがて、法命は城下の船宮に移り、近くの海土町にある古い寺跡を借りて無量軒学校と名づけ、勉強に熱心な若者の教育にあたることとなります。法命の教育は儒学の教科書を読み教えるだけでなく、学んだことをもとに自分で考え互いに意見を出し合い、正しいと思ったことは実行するという事を大切にしました。法命の生徒の中には向平蔵(相知村庄屋)、富田才治(平原村庄屋)、大谷治吉(双水村庄屋)、前田庄吉(徳須恵村庄屋)などのように、法命に代わり授業をする者もあらわれました。

法命は中国の儒学ばかりでなく、ヨーロッパの地理学や天文学の知識も身につけており、地球儀を作って生徒を驚かせたこともありました。

やがて、教えを受けた庄屋達は、自宅に私塾をつくり法命を迎えて村の若者ととも学問を学ぶようになりました。私塾は7つもありましたが、法命は宝暦9年(1759年)76歳でなくなるまで、この7塾をまわって授業を続けました。この「法命の7塾」で学んだ若者の中から、やがて村の庄屋になる者があられ、彼らもまた法命の教えを受け継ぎ、私塾を開いて村の若者の教育にあたりました。こうして江戸時代の終わるおよそ120年の間、草の根が張るように広がっていった村の私塾は30あまりにもなります。

江戸時代、唐津藩の村々にはこのようなすばらしい私塾があったことをほこりにして、みなさんも自分で考え判断し、正しい行動のできる人をめざして勉強していきましょう。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



無量軒学校跡
(唐津市坊主町)

塾名	村名	産屋
1 向平蔵塾	相知村	向平蔵(庄屋)
2 富田才治塾	平原村	富田才治(富田才治の父)
3 大谷治吉塾	玉島村	大谷治吉(大谷治)
4 前田庄吉塾	徳須恵村	前田庄吉
5 双水村塾	双水村	大谷治吉(大谷治)
6 海土町塾	海土町	大谷治吉
7 船宮塾	船宮	大谷治吉

吉武法命が巡回して授業をした七塾

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献(出典)

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html